



橋 戸

令和5年1月31日
学校だより 第10号
練馬区立橋戸小学校
校長 青木 俊哉

校外で学ぶ…

校長 青木 俊哉

先週実施した3年の社会科見学で、今年度予定されていたすべての校外学習が終わりました。校外学習は、毎年ほぼ同じ時期に、同じような所へ出かけるものもあれば、学年の判断で目的地や実施時期が変わるもの、予約が難しいものや先方の都合で想定通りの実施が叶わぬこと、年ごとに対応の異なるものなど、実は状況も様々です。さらに、コロナ禍で、交通機関の利用や現地(目的地)の状況も変わってきており、変更せざるを得ないことも多々ありますが、何とかここまで無事に実施できたこと、何よりうれしく思います。今年度実施した校外学習は、以下の通りです。

【1・2年】遠足…9/15 大泉橋戸公園 【1年】生活科見学…10/19 橋戸公園 【2年】生活科見学…6/29, 30
まち探検、7/7 ブルーベリー狩り、9/21 中里郷土の森、11/14 稲荷山図書館 【3・4年】遠足…6/8 石神井公園
(4年は、ふるさと文化館の見学を兼ねて) 【3年】社会科見学…10/19 宮本さんのキャベツ畑、12/9 大泉学園消
防出張所、1/26 練馬区役所、練馬区美術館、石神井公園ふるさと文化館 【4年】社会科見学…1/17 小平ふれあい
下水道館、羽村取水堰・郷土博物館 【5年】移動教室…10/12～14 武石方面、社会科見学…12/1 クリクラ本庄工
場、川の博物館 【6年】移動教室…10/3～5 下田方面、社会科見学…11/21 国会、科学技術館、連合音楽鑑賞教
室…6/7 練馬文化センター *下線を引いたものは、バスでの見学です。

どの学年にも様々な校外での学習機会があり、実施当日だけでなく、事前事後の学習を含め、多様な学びを展開していることが分かりますが、校外学習のねらい、“この学習を通して子供たちに身に付けさせたい力”とは、どんなことでしょうか。学年や活動によっても当然違いますが、どの学年にも共通することとして、次の3点が頭に浮かびました。

○体験を伴う活動や高い専門性を有する方からお話を聞くことを通して、学びを深め、興味・関心を高める。

○様々な人と触れ合うことにより、関わる力(コミュニケーション力)を高めると共に、主体的な学びの姿を導く。

○学校外で活動することにより、“公(おおやけ)の意識”をもたせ、公共心を育み公益性にもつなげる。

学校外で学ぶことで、初めての学びや体験に出会い、橋戸小の先生ではない大人とも関わります。その中には、自分たちのために仕事の時間を割いて対応して下さる方もたくさんいらっしゃいます。他者の存在を意識し、感謝を態度や礼儀、言葉で表すことを覚える絶好の機会です。また、例えば公園での小さい子との出会いや見学先で他校と重なることなどを通して、思いやりや配慮の気持ちを行動に移すことも求められます。自分から動くことを通して、主体性や自主性の獲得にもつながります。これらのことは、実際に各学年の校外学習に付き添う場面で、私自身が子供たちの良い姿を目にすることから把握したものが多く、教職員への発信にも努め、その後の指導や支援に役立てています。成功体験を取り上げ、学年・学級で、あるいは全校で共有することは、間違いなく一人一人の成長に還元されます。

年度末が近づき、今はまさに令和5年度教育課程編成作業の山場を迎えています。子供たちの豊かな学びにつながることを願い、各学年に多様な校外学習や外部講師による学習活動を提供できるよう、準備を進めているところです。